

令和7年4月16日

令和6年度

「高知市介護支援専門員キャリアラダーモデル」及び 「高知市共通アセスメント様式」に関する アンケート調査結果報告

高知市基幹型地域包括支援センター

1

アンケート調査概要

1 アンケート調査の目的

「高知市介護支援専門員キャリアラダーモデル活用の手引き」及び「高知市共通アセスメント様式」の活用状況を調査し、効果的なケアマネジメントの質の向上に繋がる、介護支援専門員の育成体制の構築に向けて、その方策や、ツール普及の方策を検討する。

アンケート調査概要

2 アンケート調査対象者

- ① 高知市内に所在する居宅介護支援事業所の管理者
- ② 高知市内に所在する居宅介護支援事業所の介護支援専門員と主任介護支援専門員
- ③ 高知市の地域包括支援センター

3

アンケート調査概要

3 アンケート調査期間

令和7年1月14日 ～ 令和7年2月28日（集計日：令和7年3月1日）

4 アンケート回答方法

Googleフォームでのオンラインアンケート

4

アンケート調査概要

5 アンケート回答数

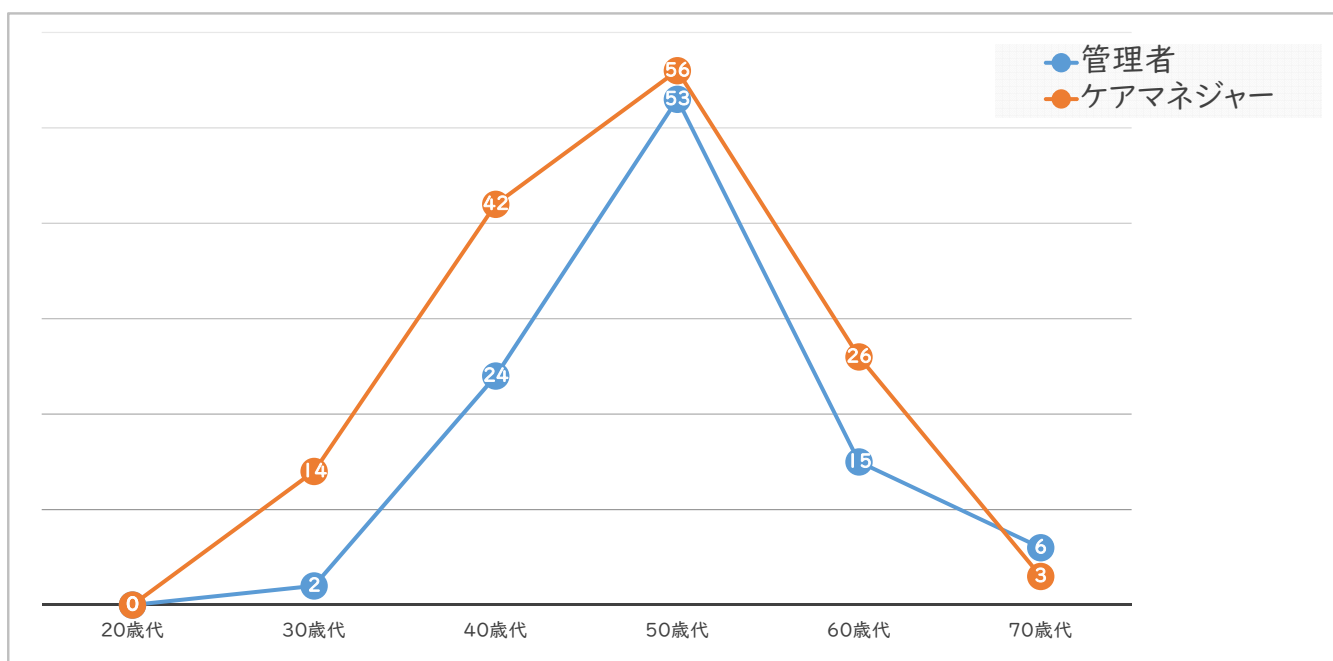
① 高知市内に所在する居宅介護支援事業所の管理者
100人

② 高知市内に所在する居宅介護支援事業所と地域包括支援センターの
介護支援専門員及び主任介護支援専門員
141人

アンケート回答者総数 241人

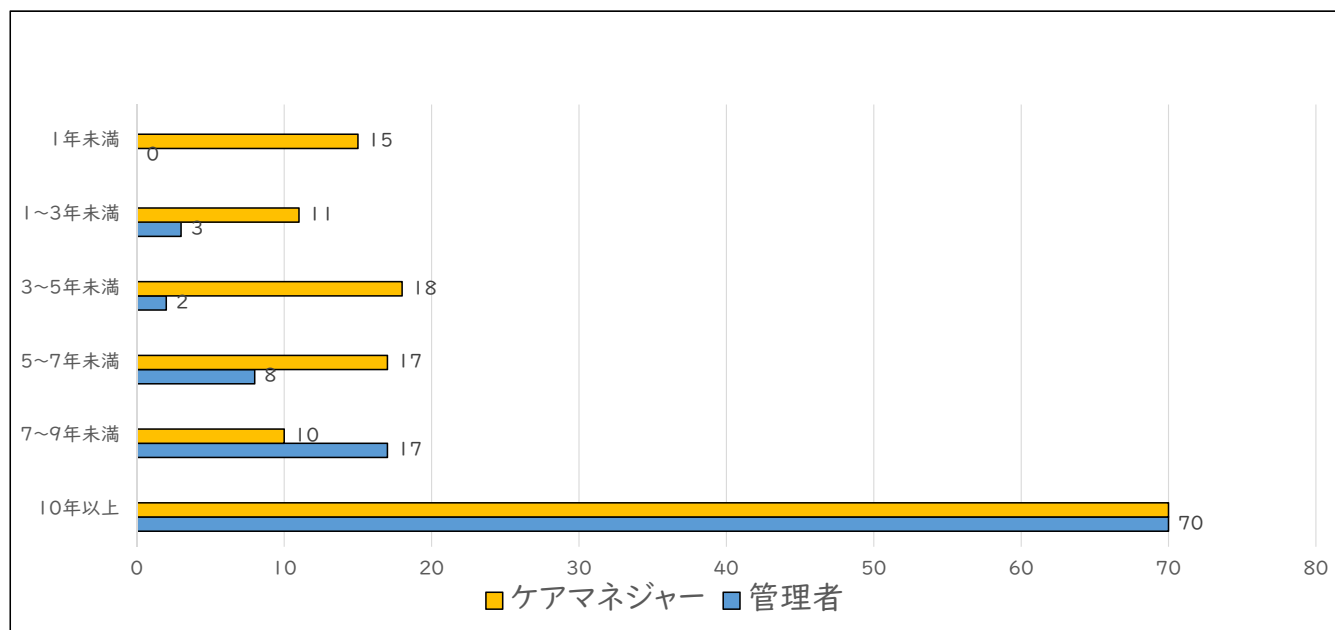
5

6 回答者の年代



6

7 回答者の経験年数

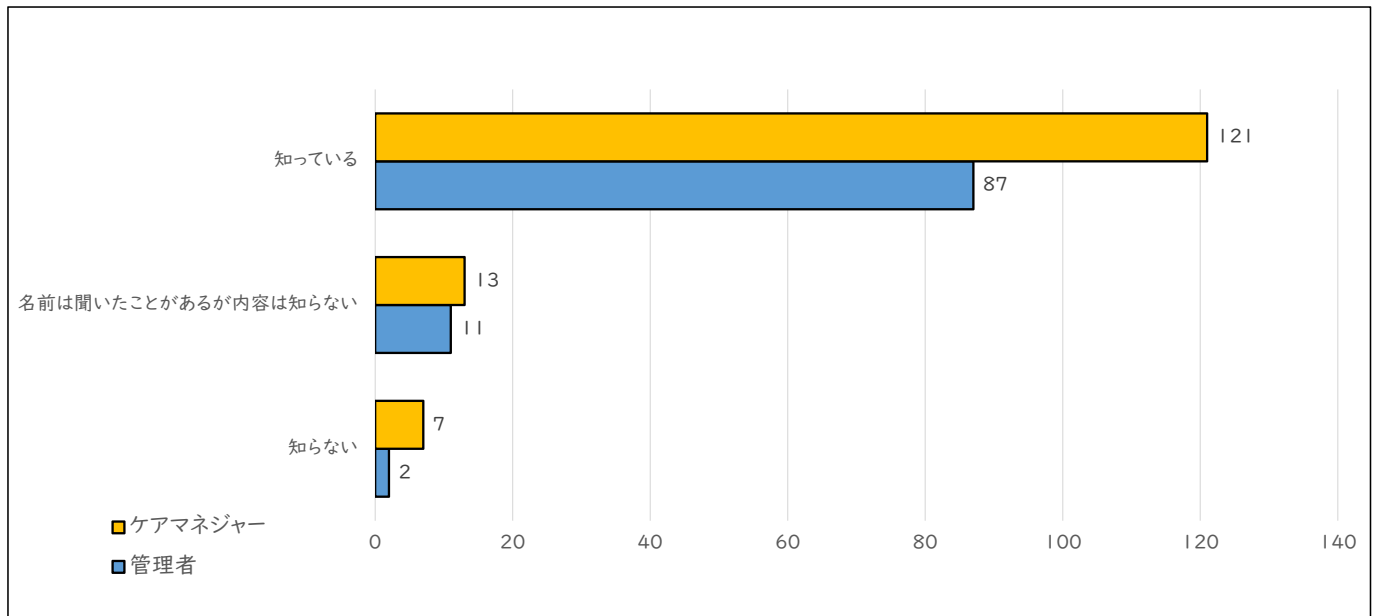


7

高知市介護支援専門員キャリアラダーモデルに関する アンケート調査結果

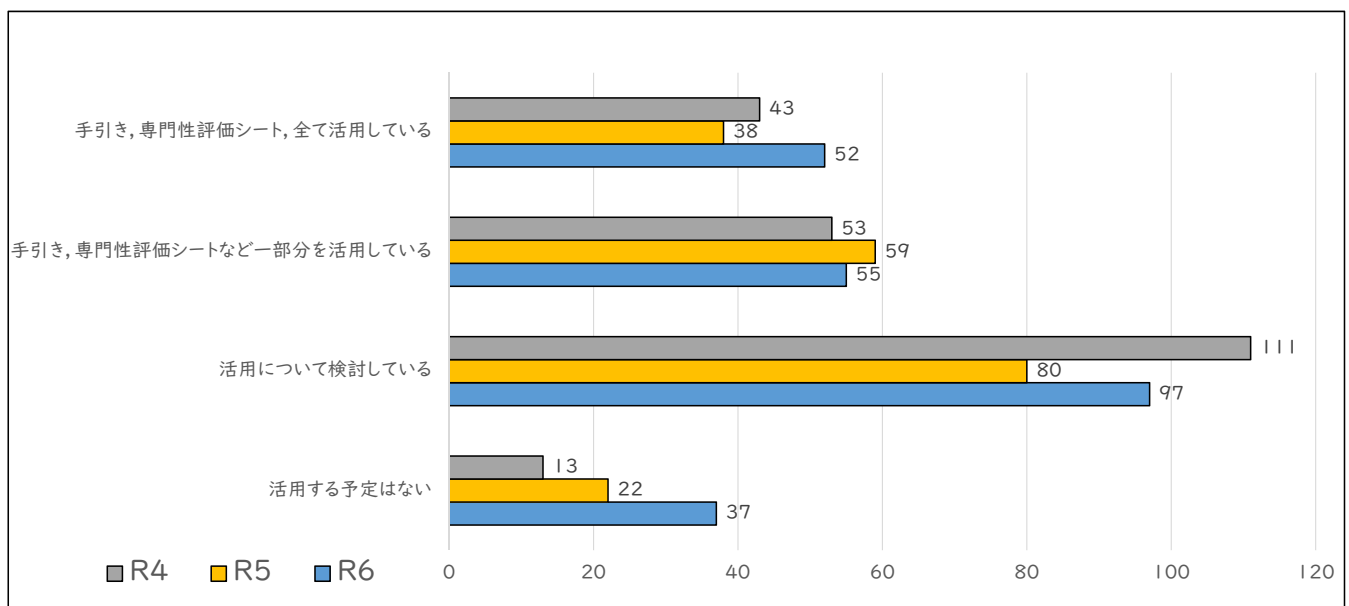
8

キャリアラダーモデルの認知度



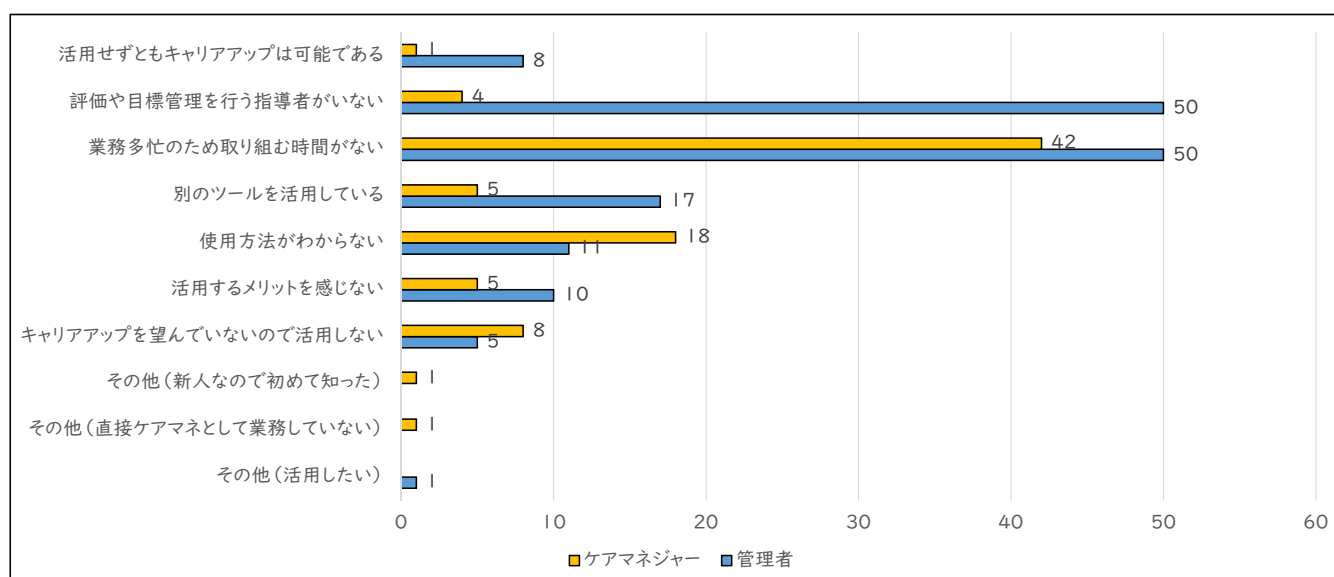
9

キャリアラダーモデルの活用状況



10

活用を検討している、または活用する予定がない理由 【複数回答】



11

キャリアラダーモデル活用状況調査の結果分析

【アンケート調査結果のまとめ】

- キャリアラダーモデル活用状況は、44.4パーセントで、令和5年度から10名と僅に増加した状況である。その理由について未調査のため不明。
- キャリアラダーモデルは、その内容を含め、86.3パーセントの回答者が知っていると回答した認知状況である。
- 「キャリアラダーモデルの活用を検討している、また活用する予定がない」理由としては、「業務多忙の為に取り組む時間がない」が、38.2パーセントと圧倒的に多く、次いで「使用方法がわからない」が、12パーセントであった。

【アンケート調査結果分析】

今後、キャリアラダーモデル活用の手引きを活用いただくためには、事業所管理者や、個々の介護支援専門員が、キャリアアップを含む人材育成の取組が重要であると認識いただくための取組が必要であると捉えることができる。

またその取組を実践するにあたり、キャリアラダーモデルを活用した具体的な展開方法を知っていただくことに加え、キャリアラダーモデルを活用した人材育成に取組む時間の確保のため、業務の効率化や生産性の向上の必要性を感じられる調査結果となった。これらのことを踏まえ、

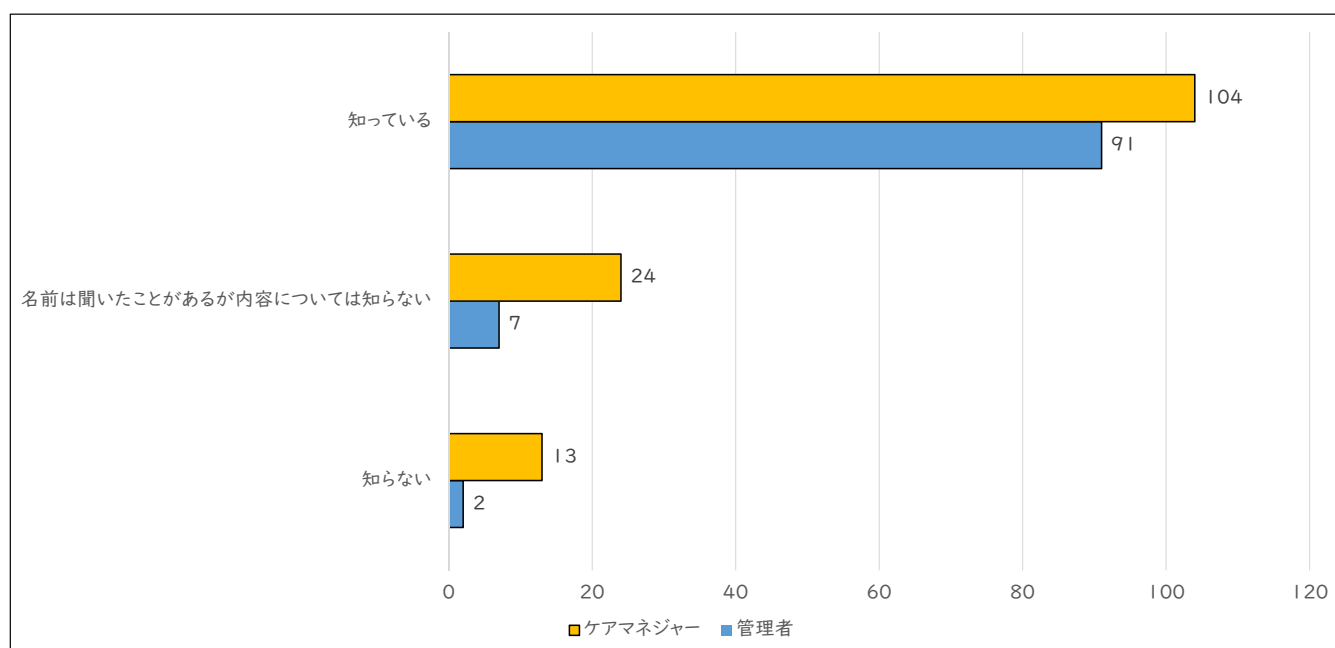
- 活用方法を理解いただくための取組
- より多くの介護支援専門員に活用いただくための、手引きの簡略化を含めたバージョンアップ等の検討
- 事業所に人材育成の重要性を理解いただくための取組と、時間確保に向けた業務の効率化を推進させる取組等が必要だと考えられる。

12

高知市共通アセスメント様式に関する アンケート調査結果

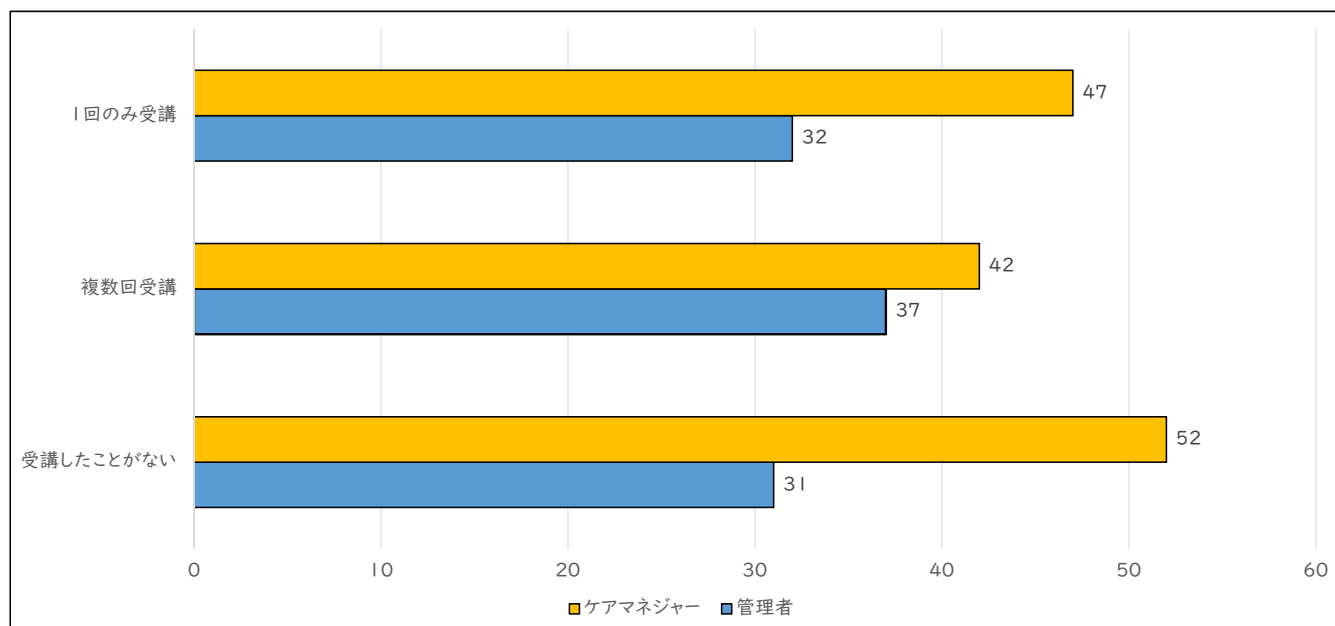
13

高知市共通アセスメント様式の認知度



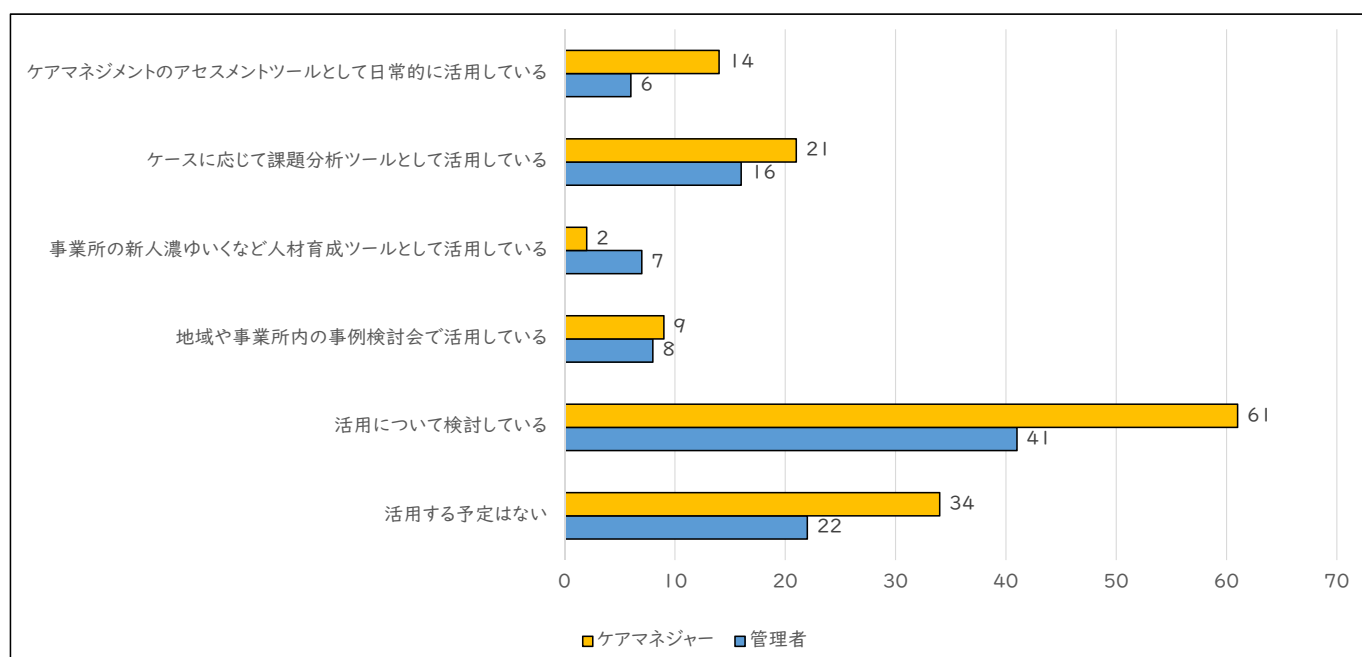
14

高知市アセスメント力向上研修受講状況



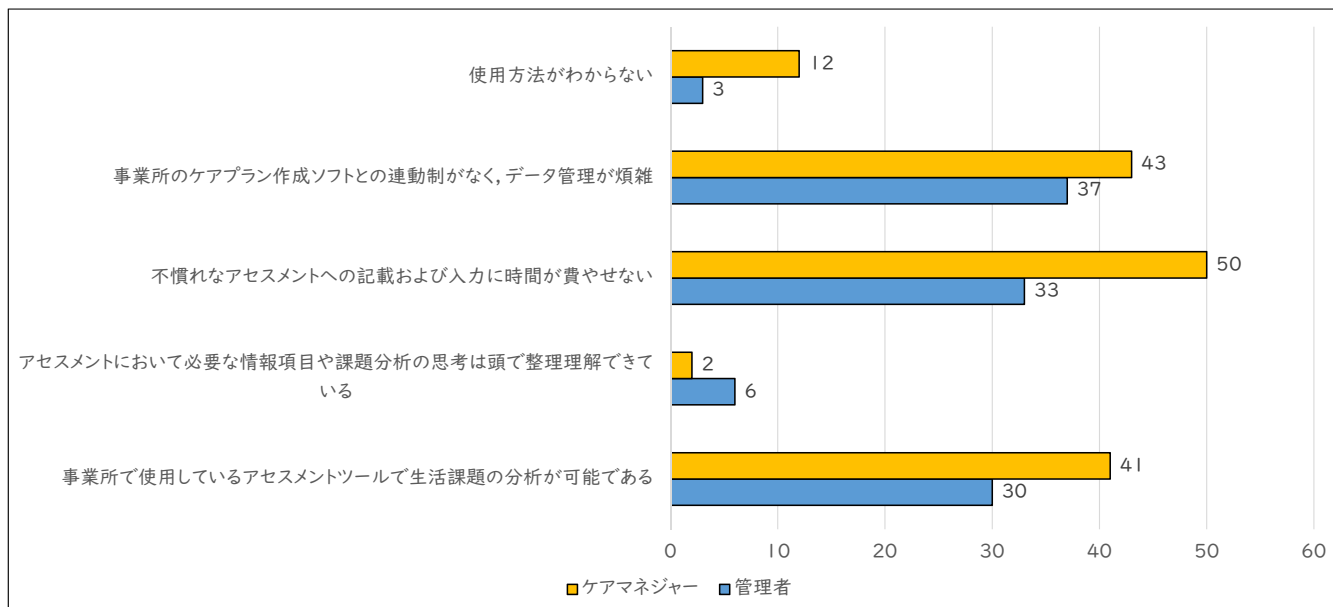
15

高知市共通アセスメント様式の活用状況



16

高知市共通アセスメント様式を活用しない理由 【複数回答可】



17

高知市共通アセスメント様式を活用しない理由 【その他の意見】

【管理者】

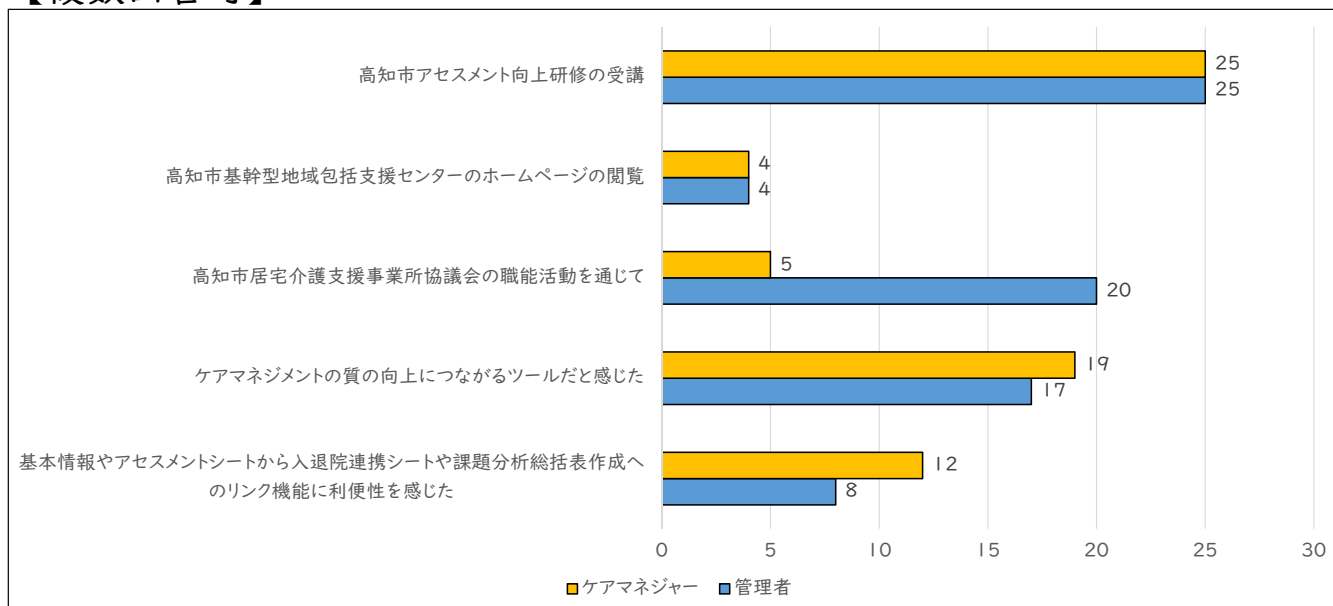
- ・事業所として、使用している介護ソフトを使用しなくてはならない。
- ・課題分析ツールとしては複雑で時間を要するため、活用するメリットがない。
- ・新規利用者のアセスメントから使用するように移行中である。
- ・新人教育ツールとしては便利であるが、経験の長いケアマネジャーに対して活用するには抵抗がある。
- ・一人居宅のため活用できない。

【（主任）介護支援専門員】

- ・事業所内で提案されることがない。
- ・知らなかった。

18

高知市共通アセスメント様式活用のきっかけや理由 【複数回答可】



19

高知市共通アセスメント様式を活用している理由 【その他の意見】

【管理者】

・これまで使用していたツールでは不十分だと思っていた為、高知市共通アセスメント様式を活用することにした。

【（主任）介護支援専門員】

・事業所内の勉強会で活用した。
・事業所の方針で活用した。
・地域の事例検討会で活用した。

20

高知市共通アセスメント様式活用状況調査の結果分析

【アンケート調査結果のまとめ】

- ・ 高知市共通アセスメント様式の活用率は、34.4パーセントであった。
- ・ 高知市共通アセスメント様式の認知にあたっては、80.9パーセント以上の認知度となっている。傾向として、管理者の認知度、91パーセントに対し、管理者以外の（主任）介護支援専門員の認知度は、73パーセントであった。
- ・ 活用のきっかけや理由の60パーセントは、アセスメント力向上研修の受講が占める。
- ・ 「高知市アセスメント様式の活用を検討している。また、活用する予定がない」理由としては、
 - ① 不慣れなアセスメントツールの使用に費やす時間がない 34.4パーセント
 - ② 事業所で使用するケアプラン作成ソフトと連動性がない 33.2パーセント
 - ③ 事業所で使用するアセスメントツールで課題分析が可能 29.5パーセント

という結果であったが、管理者に比べ、管理者以外の（主任）介護支援専門員の「使用方法がわからない」という回答が、12.6パーセントと高い傾向にあった。

【アンケート調査結果分析】

アセスメント力やケアマネジメント力向上を目指すにあたっては、様式を活用し、アセスメントの思考を習得するため、年2回のアセスメント力向上研修で、事業所や地域でアセスメント及びケアマネジメント指導が行える人材育成に取り組んできたが、今後は、より効果的かつ効率的な方法を確立させるため、研修の対象者や内容を検討する必要があると考えられる。

また、年2回の研修開催に留まらず、地域や事業所で、高知市共通アセスメント様式を活用した小規模研修や事例検討会など、介護支援専門員の主体的な活動に発展できるよう、アセスメントや課題分析について学び、考える機会を増やしていくことが重要であると考えられる。